

公募要項 / Call for Applications

公募：

流体科学研究所 テニュアトラック 助教/准教授

概要：

職名	助教・准教授
公募人員	2名
雇用形態	テニュアトラック 任期9年
就業場所	東北大学流体科学研究所 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
応募資格	・着任時に博士号の学位を有すること ・自身の専門分野において、顕著な業績を有すること ・研究活動を英語で遂行するための十分な英語能力を有すること
提出先	下記専用フォームより提出 https://jotform.com/262701044533044
応募締切	2027年2月12日17:00（日本時間）
着任時期	2027年8月1日以降（相談可）

問い合わせ先：[ifs-jin@grp.tohoku.ac.jp]

公募概要

[東北大学流体科学研究所](#)は、1943年に創立されて以来、流体に関わる基礎学理の深化と、その社会実装に資する先端的研究を一貫して推進してきました。現在は流体科学を多様な物理現象に共通する基盤と捉え、時空間スケールや対象領域を限定しない「統合流動科学」を中核理念に据えています。マクロからマイクロ・ナノに至る流動現象を、「宇宙航空」、「ナノ・マイクロ」、「環境・エネルギー」、「健康・福祉・医療」の4つの研究クラスターを軸に、材料・デバイス、AI・データ科学、先端計測・計算科学等と幅広く結び付け、基盤となる流体科学の深化と、新たな学理・研究領域の創出、そして複雑化する社会課題の解決に取り組んでいます。

今日、流体科学は従来の工学・理学等の枠を超え、社会課題の解決を支える基盤科学へとますます進化しつつあります。カーボンニュートラル、健康長寿、レジリエント社会、宇宙利用など、国内外で高度化・多様化する重要課題の多くは流体現象と深く関わっています。その一方で、乱流や界面現象、分子一連続体の統一的記述、非平衡現象など、流体科学には未解明の基礎的・根源的課題が数多く残されており、さらにAI・データ科学、自律システム、量子技術、生命科学等との融合により、従来の学問体系では扱えなかった新たな研究領域も相次いで生まれています。本研究所では、こうした潮流を踏まえながら、流体科学における学術基盤をさらに深めるとともに、分野や国境を越えて知識・人材・研究資源を結集し、社会課題の解決に資する研究と学理を持続的に生み出す国際的な研究

拠点へと発展することを目標に掲げています。

[東北大学が国際卓越研究大学に認定](#)されたことを受け、本研究所では、この目標の実現を担う次世代の研究者を、流体科学に関連する諸分野から広くテニユアトラック教員として公募します。本公募では、既存の特定分野に閉じることなく、流動現象そのものを深く探究する研究から、流体科学との融合によって新たな領域を切り拓く研究、さらには社会課題の解決や社会実装につながる研究まで、流体科学に関わる幅広い研究分野を対象とします。

採用者には、独立した研究代表者（PI）として自らの研究グループを主宰し、自身の専門性と独創的な研究構想を基盤として、挑戦的な研究を主体的に推進していただくことを期待します。具体的には、未解明の現象や根源的な学術課題を追究し、その先に新しい学理や研究パラダイムを構築する研究、あるいは先端的な学問・技術との融合によってこれまでにない流体科学を創出する研究を歓迎します。同時に、社会課題を新たな研究課題として捉え、国内外の研究者との幅広い協働を推進しながら、その研究成果を社会実装へと積極的に展開する研究者も求めます。いずれの場合においても、既存の研究領域の延長にとどまらず、自ら研究の方向性を構想し、新たな研究領域を開拓しながら、将来的には国際的なリーダーとして研究を主導していくことを期待しています。

採用後は、研究者本人の独立性と研究構想を尊重しながら、本研究所の[研究部門や附属センター、研究クラスター等](#)との柔軟な連携を支援します。また、本研究所が有している、低乱風洞施設や衝撃波関連施設、そしてスーパーコンピュータといった[先端的な研究設備](#)の利用機会のほか、国内外のネットワークを通じた共同研究や人材交流の機会を積極的に提供します。さらに、所内教員によるメンターの配置等を通じて研究グループの立ち上げを支援し、専門分野や組織の枠を超えた研究交流を促進します。これらの環境を活用しながら、自らの研究を大きく発展させ、新たな流体科学の創出と社会課題の解決を国際的に先導していく、挑戦心と意欲のあふれる研究者からの応募を歓迎します。

研究分野

流体科学に関連する諸分野

※流動現象の基礎的研究に限らず、流体科学との融合により新たな研究領域の創出が期待される研究や、社会課題の解決・社会実装につながる研究まで幅広く含みます

任期

当初の任期は9年間です。流体科学研究所のテニユアトラック制度に基づき、任期満了の2年前までにすでに包括的なテニユア審査を行います。審査結果は、契約満了の少なくとも2年前までに本人へ通知します。

審査に合格した方には、テニユアを付与された准教授または雇用期間の定めのない教授として、研究を継続していただきます。

応募資格

- ・着任時に博士号の学位を有すること
- ・自身の専門分野において、顕著な業績を有すること
- ・研究活動を英語で遂行するための十分な英語能力を有すること

給与

年俸制。東北大学の給与規程に基づき、経験と業績に応じた年俸を支給します。

勤務時間

専門業務型裁量労働制のもとで勤務いただきます。標準的な勤務時間は1日 7.75 時間ですが、勤務時間はご自身の裁量で管理できます。休憩は日本の労働関係法令に基づいて付与されます。

社会保険

文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入します。

スタートアップ支援

スタートを確実なものとするため、採用された方には、着任初年度に、研究の推進と発展に向けた基盤づくりとして、年間 250 万円のスタートアップ資金を支給します。また、着任から 7 年目まで毎年、基盤研究費（年間 200 万円）および旅費（年間 200 万円）を支給します。

本学の教員と同様に、研究所の最先端の施設・設備、および東北大学の共用設備を利用することができます。

応募方法

以下の書類を、下記専用フォームから提出してください。書類は、すべて A4 版もしくは US レターサイズ横書きの PDF ファイルで、1～6 のそれぞれを別ファイルとしてください。

専用フォームリンク：<https://jotform.com/262701044533044>

- 1 履歴書（様式任意）：
学歴、職歴、学位、受賞歴、連絡先等を記載してください。
- 2 論文等著作物リスト（必須）：
冒頭に業績件数一覧を記載し、その後に原著論文、査読付きプロシーディングス、著書、総説・解説等の業績をそれぞれの区分ごとに記載してください。共著の場合は全著者を記載し、応募者本人の氏名に下線を付してください。
業績件数一覧には、各区分の件数に加え、サイテーション数の総計および h-index、ならびに業績が確認できる ORCID、Scopus、Web of Science 等のうち記載可能な ID をすべて記載してください。特に強調すべき業績があれば、あわせて記載して差し支えありません。
- 3 その他の研究・学術活動実績（該当する場合）：
受賞・栄典、特許、国内・国際会議における発表、競争的研究資金の獲得、社会貢献活動その他、上記 2 以外に特筆すべき研究や学術活動の実績がある場合は記載してください。
- 4 主要論文のコピー（5 編以内）：
応募者自身の研究を代表する主要な論文を提出してください。
- 5 これまでの研究概要：
これまでの研究の背景、主要な成果、その学術的意義等について記載してください。
- 6 今後の研究展望および着任後の抱負：
今後取り組む研究の構想やその将来展望、ならびに流体科学研究所においてどのように研究を発展させたいかについて記載してください。

※注意事項

- 提出書類は日本語または英語で作成してください。
- 応募フォーム上で下記事項を入力いただきます。
 - 応募者基本情報（氏名、連絡先、現所属）
 - Researcher ID
 - 研究業績等の基本情報（論文数（査読付き論文）・サイテーションの統計・h-index）
 - 応募者について照会できる人物1～3名の情報（氏名、所属、職名、電子メールアドレス、および応募者との関係）
- 提出された書類は選考の目的にのみ使用します。
- 選考の過程で、必要に応じて追加資料の提出を求める場合があります。

選考プロセス

選考は、書類審査と面接の2段階で行います。

お問い合わせ

東北大学流体科学研究所

（担当部門）総務係

メールアドレス：[ifs-jin@grp.tohoku.ac.jp]

その他の情報

- 東北大学国際サポートセンター（ISC）は、海外から着任する研究者が、日本での生活上の不安なく研究に専念できるよう、包括的な支援を提供しています。渡航や住居の手配、各種事務手続き、銀行口座の開設など、幅広いサポートを行っています。詳細はISCのウェブサイトをご覧ください。[\(ISC ウェブサイト\)](#)
- 東北大学は、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（多様性・公正性・包摂性）の取り組みを積極的に推進しており、あらゆる背景をもつ優れた人材からの応募を歓迎します。詳細は、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DEI）推進センターのウェブページをご覧ください。[\(東北大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DEI）推進宣言\)](#)
- 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づき、女性教員の比率向上に向けた措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合には、女性を優先して採用します。
- 学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した『[東北大学 みんなが主役 多様な性に関するガイドライン](#)』を公表しています。
- 東北大学は、全国の国立大学の中でも最大規模の学内保育環境を備えています。全学教職員が利用できる「川内けやき保育園」（定員22名）・「青葉山みどり保育園」（定員116名）に加え、大学病院職員等が利用できる「星の子保育園」（定員120名）の3施設を運営しています。さらに、大学病院内に体調のすぐれない子どもや回復期の子どもを対象とした保育施設も設けており、全学教職員が利用できます。

- 男性教職員の育児休業等取得促進策を含む本学の両立支援、研究支援等の詳細及び男女共同参画の取組については、以下のウェブページをご覧ください。 ([DEI 推進センター ウェブページ](#) / [人事企画部 ウェブページ](#))
- 配偶者・パートナー帯同雇用支援制度（採用された教員の配偶者・パートナーの方を本学教職員として雇用）もございますので、適宜ご相談ください。